

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町63
いわき民報社
社長 野沢武蔵
電話(代表)4161番
©いわき民報社 1961

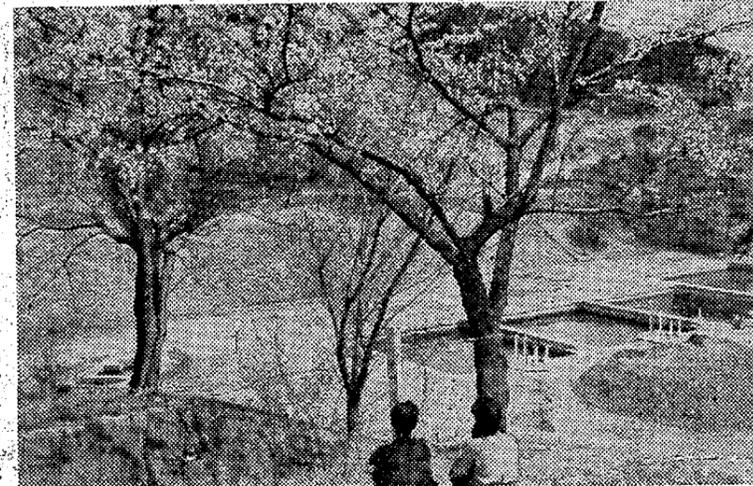
定評ある
呉服店
春の
きものと帯
豊蔵陳列中
三井
平・三電4824-5



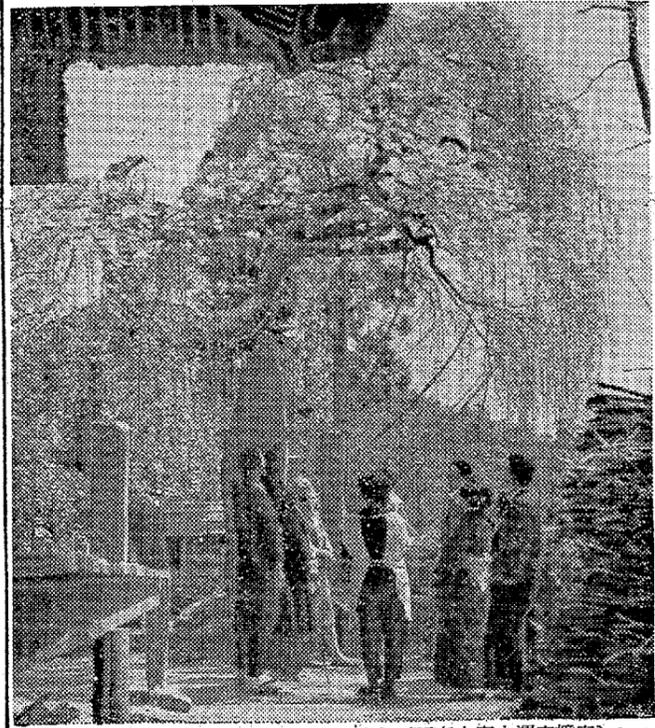
樹令が若く花も大きく花数も多いのが特色の盛城富ヶ浦公園のさくら



吹く風を勿来の関...の古歌で知られる勿來跡跡にさく山ざくら



目撃特報



四倉淨水場のひっそりとした環境に咲くさくら

さきにおろ樹令四百年の大しだれざくら(平市大室大運寺境内)

ゆく春を惜しんで
にぎわうさくらの名所

郡内のさくらの名所は、平市の松ヶ岡公園をはじめ、勿來市の勿來跡跡、若菜市の鶴岡山公園、北郷町の若菜公園、四倉町の四倉浄水場のさくらなど、市内各地に点在している。朝晩の冷気に助けられて花持ちも良く、よやく散り初めた程度、花見客を呼び寄せている。

◎湯本龍音山一帯に咲くさくら(合山山より見て)

各所所在地と受け入れ施設の充実を図り、桜まつり行事を花やかに盛り上げているが、夜は、ちびっちゃん、ほんぽり、飾り、洋装飾りにされた桜花のもと、散る風情を楽しむ人達でにぎわうさくら名所。

きょうの話題

中小企業の労働管理

強く叩かれて来た。平労働事務所の平労働課でも年に数回の労働管理講座を開き、労働問題、労働条件、賃金、福利厚生などを徹底的に細にわたっての講義には、聴講者たちも大いに教えられるところが多い。出陣者のメンバーは市内でも大きな会社の人々が多く、中小企業の経営者はほとんど顔を覗かしていない。中小企業は労働管理を学ばなくてはならないのに、講座にも出席せず、労働管理の必要感を痛感している経営者が多いようだ。

最近の労働争議は中小企業に多くなって来ている。石城地方だけでも昨年度は二十六件に達し、年々増加する一方だ。組合結成を恐れて強圧を加える経営者は、組合幹部の首切りに乗り出したり、要当な要求でも拒否し続けたり。そのケースは種々雑多。一方組合も生活権確保だけを多めに取って、経営を無視した無理な要求を掲げ、要求が通りなれば断固闘争というところでは世論も黙ってはいない。騒がしい要求が通ると考えるのは大間違いだ。企業を苦しめてしまふことにもなりかねない。自ら悪穴を掘る結果になるのだ。

大企業と中小企業の格差が増大すればするほど、中小企業の労働管理は適正な花びらにしなければならず、労使がともに働き合って企業を伸ばさなければならない。それには労資両者の労働管理の主要性を認識し、一歩一歩改善を図っていくのが望ましいではないか。

労働管理に上層部体の指導が多いが、企業を伸ばすためには、現場の責任も負わなければならない。

宮城まり子

MIYAGI Mariko HIT SHOW

売り出し期間 4月1日-5月10日

☆招待日 5月21日(日)
☆会場 平市公会堂

ヒット・ショウ

3回公演 午前11時
午後2時
午後5時



出演者

- 宮城まり子
- ザ・エコー
- ピクチャー
- 武田雄
- チャリ石黒と
- 東京パンチ
- 牧伸
- 上田ブラザーズ
- 一行42名

団員店でお買い上げ
3000円毎に招待券進呈
100円お買い上げ毎に補助券進呈
補助券30枚で招待券とご交換致します

平指定商連盟会

平市三丁目 TEL・3606

